

漁 業 研 修 事 業

目 的

漁業就業者及び漁業指導者等を対象に、短期研修、各種の講習等を実施し、水産技術の習得、知識の向上を図り、豊かな漁村づくりに寄与する。

事 業 結 果

1. 実 施 時 期 平成5年4月1日～平成6年3月31日
2. 実 施 場 所 青森県水産試験場漁業研修センターほか
3. 実 施 状 況 表1に示した。

研 修 結 果

研修等件数31件、開催日数33日、受講者数延997名であった。なお、項目別、月別の研修結果を表2に示した。

表1 平成5年度漁業研修実施件数

区 分	研修年月日	研 修 等 名	講 師	研 修 対 象
資 格 取 得	5. 7. 27 ～ 29	青年漁業士講座	漁業振興課ほか	全 県
増 養 殖	5. 5. 27 6. 10 7. 23 10. 26 11. 15	サクラマスの養殖方法について ウニの生態と増殖について ウニの生態について エゴノリの養殖技術 サザエの資源管理にと増殖方法	水 産 試 験 場 水産増殖センター " " "	日 本 海 北 部 大 畑 地 区 鰺 ケ 沢 地 区 日 本 海 南 部 "
漁 況 海 況	5. 4. 15 5. 17 5. 28 6. 21 7. 13	スルメイカ漁況の見通しについて " " ミズダコの生態と資源管理 刺し網の網目拡大効果について	水 産 試 験 場 " " " "	太 平 洋 南 部 日 本 海 北 部 太 平 洋 南 部 東 通 地 区 太 平 洋 南 部
漁 業 技 術	10. 7 10. 13	ヒラメ栽培漁業の展開について クロソイの生態について	栽 培 漁 業 協 会 水 産 試 験 場	全 県 日 本 海 南 部
資 源 生 態	5. 10. 14 10. 20 11. 8 11. 18 11. 29 12. 2 12. 16 6. 1. 26	磯根資源利用管理 マダラの資源動向と回遊生態 マダラの生態と資源管理 タコの生態と流通について カレイの生態と資源管理 トゲクリガニの生態と資源管理 魚礁の効果と利用方法について ヤリイカの生態と資源状況	水産増殖センター 水 産 試 験 場 " 活 業 取 扱 業 者 水 産 試 験 場 水産増殖センター 水 産 試 験 場 "	階 上 地 区 鰺 ケ 沢 地 区 日 本 海 北 部 佐 井 地 区 太 平 洋 中 部 蟹 田 地 区 太 平 洋 中 部 日 本 海 南 部

区 分	研修年月日	研 修 等 名	講 師	研 修 対 象
航 海 技 術	5. 5. 28 6. 15	ロープ、ワイヤーの結索術	水 産 修 練 所 "	海 峡 西 部 湾 内 地 区
加 工 一 、 そ の 他	6. 2. 17 2. 22 3. 3 5. 7. 8 9. 14 6. 1. 13 2. 7 3. 1	天気図のやさしい見方 " 海図とコンパスの見方 水産物の利用、加工方法について 低価格魚の付加価値加工方法 ブナザケの加工方法 ミズダコの加工方法 低価格魚の付加価値加工方法	水 産 試 験 場 " " 水産加工研究所	大 間 地 区 湾 内 地 区 " 日 本 海 北 部 海 峡 西 部 日 本 海 南 部 東 通 村 地 区 海 峡 東 部
計	33日	31件		

表 2 平成 5 年度漁業研修実施結果

区 分 \ 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
研 修 件 数		1	4	3	6		1	5	4	2	2	3		31件
研 修 日 数		1	4	3	8		1	5	4	2	2	3		33日
受 講 者 数		26	141	75	200		30	175	137	64	63	71		997人
内 訳	資 格 取 得				1 3 延 48									1件 3日 延48人
	漁 海 況	1	1	1				4	3	2	1			15件
	漁 業 技 術	1	1	1				4	3	2	1			15日
	資 源 生 態	26	96	26				146	114	64	41			568人
	増 養 殖		1	1	1			1	1					5件
	栽 培 漁 業		1	1	1			1	1					5日
	含 む		26	31	31			29	23					140人
訳	航 海 技 術		1 1 20	1 1 18										2件 2日 38人
	加 工 、 そ の 他				1 1 27		1 1 30				1 1 22	3 3 71	2 2 53	8件 8日 203人
	宿 泊 施 設				1 3 延 45									1件 3日 延45人